

再エネ勉強会

～木質バイオマスの収集と利活用の実現～

開催日時 令和3(2021)年
11月17日(水) 18:30～20:00

※新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら、再エネ勉強会を実施します。
また、会場にお越しの際は、マスクの着用等の感染症防止対策のご協力をお願いいたします。

会場 **津別町役場 1階 健診ホール**
(津別町字幸町41番地)

※ 会場(左図の■)の入口は、閉庁後のため正面裏の健診ホール
出入口(左図の★)より入場のほどお願いいたします。



定員 **40名** 参加費用 **無料**

**所有山林、畑周辺の支障木、庭木など
処分に困っている木はありませんか？**

再エネ勉強会の目的

津別町森林バイオマス利用推進協議会では、津別町の特性に応じた新エネルギーの導入促進を図るために、森林・林業ならびに木質バイオマスエネルギーに関する取組の調査および協議を行っています。

当協議会では、森林整備の促進を目指し、林地未利用材の有効活用を図る仕組みとして、当町が整備予定の「**木質バイオマスセンター**」について、林野庁補助事業「地域内エコシステム」モデル構築事業を活用し、設備や運用体制等について検討しています。

本再エネ勉強会は、当町における**木質バイオマスセンターとつべつウッドロスマルシェの仕組みづくり**に向けて、町民の皆様方に**取り組み内容等をご紹介します**とともに、**ご意見やご質問をいただく**ことを目的に開催いたします。

木質バイオマスセンターの建設に向けて

津別町全体で森林・地域資源を

余すことなく利用できる仕組みを構築します！



皆様のご参加をお待ちしております！

主催：津別町森林バイオマス利用推進協議会

共催：地域内エコシステム事務局（（一社）日本森林技術協会、（株）森のエネルギー研究所）

後援：津別町

【問い合わせ】ご不明な点や質問等がございましたら、お気軽にご連絡ください。

津別町役場 産業振興課 再エネ推進係【担当：兼平・松本】TEL：0152-77-8387



つべつウッドロスマルシェとは？



(答え) 木を持ち込める仕組みです！

持ち込める材のイメージ



追い上げ材



末木・枝条

対象となる**林地未利用材**とは？
「追い上げ材」や「枝条」の搬出を想定しています。
また低質材の搬出や生産もOKです。

枝条

森林をきれいに保つ
～美しい森林づくり～

森林をきれいに保つと…
・野生鳥獣害の被害軽減へ
・地帯への作業負担も軽減へ
・作業効率と収量の向上へ
・地産地消が根付いていく

森林組合・林業事業者

- 製材用材 (A材)
- 合板用材
- 低質材

業務が森林整備に寄与

新規流通

- 林地未利用材
- 追い上げ材
 - (枝条)

地域住民 (搬出・生産のボランティア)

- 林地未利用材
- 低質材
 - 追い上げ材
 - (枝条)

個人、グループ…
様々な形態で搬出

木質バイオマスセンター



新供給



必要としている消費者へ販売
● 家庭用ストーブ
● キャンプ用薪
● スウェーデントーチ (ウッドキャンドル) など

エネルギー用チップ供給



既存・新規の販売先へ流通
● 公共施設、民間施設
● 農業用ビニールハウス
● 域外も見据えた販売

農畜産用チップ供給



農畜産用としての販売
● 暗渠疎水材
● 家畜敷料 など

つべつウッドロスマルシェのイメージ

津別町では、令和元(2019)年度、令和2(2020)年度に引き続き、地域内エコシステムの構築の核となる「木質バイオマスセンター」の設立を準備しています。

木質バイオマスセンターは、地域資源である木質バイオマスを利用し、収集・受け入れ(買取)・チップ加工(薪含む)・販売・運搬等を行う一手に担う設備として機能する予定です。また、これを運用するのが(仮)津別町再生可能エネルギーマネジメントセンターであり、公民連携の組織を目指しています。

木質バイオマスセンターで製造された製品は、林業のみならず農業への利用も可能であり、産業間での幅広い利活用も視野に入れています。

木質バイオマスセンターの機能の一つである受け入れ(買取)では、①森林所有者への利益の還元および森林所有者・地域住民の気運醸成の場づくり、②森林整備に資する林地未利用材の有効活用と収集する仕組みづくりの2つを目的に、**津別町独自の仕組み「つべつウッドロスマルシェ」**の実施に向けて、検討しています。つべつウッドロスマルシェに、木を持ち込むことで、わずかではありますが収入が得られ、津別町のために役立つことにつながります。



皆さん、知っていましたか？

ウッドロス(=林地未利用材)は、津別町生まれの造語です！